


發送 教務
 番號 第二二三號
 大正 年 月 日 判
 大正 年 月 日 扱
 小樽寫校 合

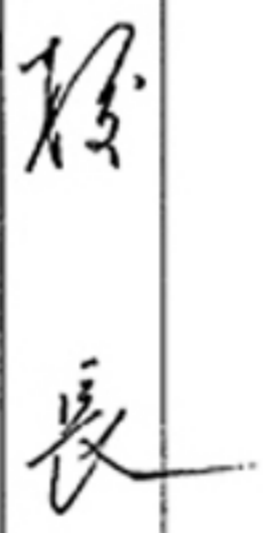
大正十二年 九月二十五日

校長 

監生部主事 
 教務部主事 

銘件 パーマギ練習會反告ノ件

大正十二年 九月二十五日

校長 

議案野紙

小樽高等商業學校

松浦鎮守府

文部省專門事務局如左

本年四月十八日自地及古七回報
 於以于中
 爲此英米ノパーマ氏ノ英語教授法ニ関スル
 練習會并一覽方且思會ノ趣旨ニ其主キ月
 十四日より別紙抄示之依り并一覽ノ豫定ノ
 趣旨ニ于日終了
 及以之及及練習ノ
 一曰ノ場タル裨益鮮クナラス其効果大ニ起スル
 毛ノ可智之移、練習知不足情ヲ添テ及以

報告書

小樽高等商業學校

OTARU KOTO SHOQYOGAKKO
(The Otaru Higher Commercial School.)

Hokkaido, Japan.

SCHEDULE

OF
LECTURES ON ENGLISH LANGUAGE STUDY
TO BE HELD
AT THE
OTARU HIGHER COMMERCIAL SCHOOL

MAY 14th - 20th, 1923.

.....

LECTURERS

Harold E. Palmer, Esq.,

Assistant in the Phonetics Department,
University College, London.
Lecturer on Linguistics at the School
of Oriental Studies, London.
Linguistic Advisor to the Department
of Education.

Harold M. Lane, Esq., B.A. (Penn.)

Instructor of English in the University
Preparatory School, Imperial University
of Hokkaido.

Frederick V. Brown, Esq., M.A. (Princeton)

Instructor of English in the University
Preparatory School, Imperial University
of Hokkaido.

D.B. McKinnon, Esq., M.A. (California)

Instructor of English in the Otaru
Higher Commercial School.

A.B. Lowndes, Esq., B.Com. (Birmingham)

Instructor of English and Commerce in
the Otaru Higher Commercial School.

OTARU KOTO SHOGYOGAKKO
 (The Otaru Higher Commercial School.)
 Hokkaido, Japan.

"TIME-TABLE

	(2.10 - 3.00 p.m.)	(3.05 - 4.00 p.m.)
May 14th, Mon.	Mr. McKinnon.....	Mr. Palmer (4.05-5.00 p.m.)
" 15th, Tues.	Mr. Brown.....	" "
" 16th, Wed.	Mr. Lane.....	" "
" 17th, Thurs.	Mr. Brown.....	" "
" 18th, Fri.	Mr. McKinnon.....	" "
" 19th, Sat.	Mr. McKinnon.....	" "
" 20th, Sun.	Mr. Lowndes.....	" "

 SUBJECTS OF LECTURES

- Mr. Palmer,
 1) Modern Methods of Language Study.
 2) Systematic Pronunciation Exercises.
- Mr. Lane,
 Cultural Value of English.
- Mr. Brown,
 1) Psychology of Speech.
 2) Psychology of Public Speaking.
- Mr. McKinnon,
 1) Westerners' Impressions of Japanese Conversation.
 2) Westerners' Conversation Tactics.
 3) Value of Question Tactics and Suggestion.
- Mr. Lowndes,
 The Aims of the English Teacher in Commercial Schools.

扣

小樽高等商業學校

種別	英語講習會員調	
	講習會員	証明書交付員數
中學校	三七	三〇
高等商業學校	一五	一二
師範、工業、商學、水產、農業學校	一五	一四
女子學校	一六	一二
中等學校以外	八	四
本校生徒	四七	四一
本校職員	一七	一七
合計	一五五	一三〇

英語講習會之員名簿

中學校之部

校名	職名	証明書交付	講習員氏名
札幌第二	教諭	○	寺山吉平
岩見澤	教諭	○	中島武夫
私立北海	教諭	○	笠島達三
私立北海	教諭	○	西村真幸
私立北海	教諭	○	相川貞策
私立北海	教諭	○	大澤千亀
私立北海	教諭	○	木村牧
私立北海	教諭	○	大森初太郎
私立北海	教諭	○	鈴江幸藏
私立北海	教諭	○	根岸一
私立北海	教諭	○	三浦一郎
私立北海	教諭	○	吉野毅
私立北海	教諭	○	平澤虎一
私立北海	教諭	○	笹谷雄三
私立北海	教諭	○	草地權六
私立北海	校長	○	千葉精一
私立北海	校長	○	豊國秀丸

小樽高等商業學校

綱	室	函	権	日	日	日	日	日	札	日	日	日	日	日	日	小	野	日
走	蘭	館	内						幌						樽	付		
				教	日	教			第一	日	日	教	日	日	教	日	教	
				諭		諭						諭			諭		諭	
山	加	吉	津	玉	古	澤	本	淺	河	小	町	米	赤	小	田	西	西	日
田	藤	川	田	井	村	吹	郷	山	合	樽	野	村	岡	林	尾	山	本	沼
巖	秀	巖	一郎	武	榮	敷	良	正	文	高	二	正	明	繁	一	修	正	菊
					美		喜	路	太	等	郎	二	治	之	一	造	美	次
							治		郎	業								
										學								
										校								

商業學校之部

校名	職名	証明書交付	講習員氏名
札幌	教師	○	西村久藏
根室	嘱託教師	○	清水春雄
札幌	教師	○	吉田民彌
小樽	教諭	○	山口末一
市旭川	教諭	○	齋藤徹五郎
私立北海	教師	○	比良吉次
小樽	教諭	○	関興三郎
札幌工業	教諭	○	後藤幾久雄
札幌工業	教諭	○	男澤卓郎
札幌工業	教諭	○	坪沼三郎
札幌工業	教諭	○	望月 毅香
札幌工業	教諭	○	玉井力三郎
札幌工業	教諭	○	新谷英一
札幌工業	教諭	○	杉山隆次
札幌工業	教諭	○	宮越正次
札幌工業	教諭	○	若松彌之助
札幌工業	教諭	○	有賀 皓

小樽高等商業學校

市 札幌	日	日	札幌	函館	女 學校 之部	日	空知農學校	札幌 通信 所 教師	日	函館 高 船	日	日	札幌 師範	日	日	小樽 水 産	函館 工 業	札幌 工 業	
日	日	日	日	教諭		日	教諭	囑託	日	教諭	教諭心得	日	日	日	日	教諭	助教諭	教諭	
○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
松本 豊	清野 謙藏	宮部 重代	吉本 一收	米澤 貞三			齋藤 新之助	三宅 於菟 松	梅澤 謙三	北澤 哲	木村 喜一	矢部 孝造	富永 友延	伏藤 庸男	白幡 長助	奥井 孝太郎	太田 振策	加藤 定雄	泉谷 金司

小樽高等商業學校

				第一學年		第二學年									
				○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
				森原 磯吉	小樽高等商業學校	山内 実	岡 文 義	真野 潤造	高 村 弥三郎	香 川 清 夫	棚 橋 省 吾	三 浦 兵 太郎	門 間 冬 見	西 村 迪	星 野 輝 敏

本校職員之部

職名	証明書交付	講習員氏名
教授	○	講習員氏名
教授	○	中村和之雄
教授	○	若末地英俊
教授	○	ト部岩太郎
教授	○	根岸正一
教授	○	中村賢二郎
教授	○	小瀬伊俊
教授	○	濱林生之助
教授	○	大平頼母
助教授	○	小林象三
助教授	○	大熊信行
助教授	○	小幡孫二
助教授	○	高橋益安貞
講師	○	奈岡武
講師	○	加藤緑藏
講師	○	ダニエル・ブルック・マッキン
講師	○	アーノルト・ブラフドリ、ラウンス
講師	○	ジョーアルベル・テイゲン

小樽高等商業學校



供閱 校長

監學部

教務部

發專七四

大正十二年四月十八日

文部省專門學務局長松浦鎮次郎

小樽高等商業學校校長伴房次郎殿

今般本省囑託英國人パリー氏ノ英語教授法ニ関スル講演會ヲ北海道ニ於テ開催致度希望ニ有之就テハ左記條件ニ依リ貴校ニ於テ御主催ノ上萬事御配慮相煩度何分御回答相願度

記

文部省

一 期間ハ七日間トシ五月十四日ヨリ二十日マデ毎日午後三時ヨリ五時マデノコト

一 會場ハ貴校トセラレ度コト

一 聽講者ハ中等諸學校以上ノ英語教師ヲ主

トシ其他中貴官ニ於テ適當ト認ムル者ヲ御

選定相成差支ナキコト

一 費用ハパリー氏ノ報酬トシテ四百五十円雜費

五十円計五百円ヲ校館費中ニ増額スルコト

一 講演題目

1. Modern methods of language study.
2. Systematic pronunciation exercises.

發送
第一八五號

大正 年 月 日
大正 年 月 日
日 報 濟

淨寫校 合

大正十二年 月 日

校長



監生部主事

教務部主事

銘件

決諸議演會并傳万回以居一件

大正十二年四月三日

校長

議案野紙

小樽高等商業學校

文部省專門事務局知事

八月十日自午後七時 演說會并傳万回以居一件
議案野紙、パーマー氏ノ英語教授法ニ関スル
演說會并傳ノ義思會ノ趣旨存ニ至
極力自返シテ計画可成ル事
及日回心也

發送
番號

第

號

大正 年 月

日 判 決

大正 年 月 日 報 濟

淨 寫 校

合

大正十二年四月二十四日



校長



監事部主事 齋

銘件

小樽系督考友へお電ノ件

七条

コウエシカワイ
議案會一四日ヨリ六日ヨリ
七ヨリ返電待ツ

議案野紙

小樽高等商業學校

校長

小樽系督考友へお電

注意 万一に人宛てたる電報の配達を受けざることを其旨を付録し直に各電報局所に送戻せらるるべく決して其受取人へ送致し又は手渡しせざることを

二〇二五番報 局 發 ク マ ン

番 〇

付 午 一 月 時

分 三 五

字 五 〇 三 四

供 電 校 長 送 紙

オタルニウトウセウケウ
カツコウテフシ
ンフサジロウ

0811

名氏所居人急發

コマツハラ

印 附 日 局 警

定指

事記

信生〇

コウエンカイハ一参四ヒヨリニチヨウラフクミタヒカン

七



紙 送 送

注意 受付日目の記入を省略したるものは受付の當日着局に於て受留したるものとす

※したれる送申すに便郵料金は夕類印はら其並の倍額不取

編編集 年十正大 一 號四十六第電

發送
番號

第

號

大正

年

月

日

判決

大正

年

月

日

撥濟

淨寫校

合

大正十五年九月十九日



校長



香久長

會計係主任



銘件

練習會終了ニ付報謝金ノ件

去ル十四日ヨリ第一種五種、文部省委託。パーラー
ニ付テ練習會ハ、昭二十日ヲ以テ終了シ、可成
ニ自パーラー民ニ對スル報謝金四百五拾圓支給

議案野紙

小樽高等商業學校

五ノ五ノ五

發送 番號	第	號
大正	年	月
大正	年	月
日	日	日
判決	日	日
淨寫校	合	

大正十二年九月十二日

校長



監事部主事

教務部主事

會計係主任



銘件 陸軍部義勇隊員支給ノ件

本校主事係文部省義勇隊員支給ノ件
 諸君教授法ニ関スルニ練習會未ナド四日ヨリ
 二十日迄并ニ備フシキニ就テニ多ク會中

議案野紙

小樽高等商業學校

北海道高等商業學校ノ主事ニシテ
 二回ノレインニ一回ノ義勇隊員支給ノ件
 トシテブラウシニ多ク支田レインニ多ク支田
 支給ノ件